

<p><b>【活動名】</b> 洞海湾!絶滅危惧植物再生プロジェクト</p>
<p><b>【団体名】</b> 九州共立大学・TEAM 洞海湾</p>
<p><b>【団体概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 設立目的:自然と人間が共生できる洞海湾の自然環境の修復</li> <li>② 設立年月日:平成 20 年4月1日</li> <li>③ 会員数:8 人</li> </ul>
<p><b>【活動実績】</b> 洞海湾に自生する絶滅危惧塩生植物の保護活動</p> <p>絶滅が心配される塩生植物(シバナ等)の種を洞海湾奥干潟の原生地で採取し、九州共立大学内において育苗・繁殖を行い、その苗を洞海湾奥干潟に移植するなどして絶滅危惧植物の保護に力を注いできた。現在も継続的な保護活動を行っている。</p>
<p><b>【活動内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 活動目的 洞海湾奥干潟に自生する絶滅危惧植物の保護と生育環境の保全、市民に親しまれる洞海湾の海辺空間の創造を目的とする。</li> <li>② 活動内容 活動実施日:令和3年4月7日～令和4年3月29日の50日間 実施場所:洞海湾奥干潟、九州共立大学(ビオトープ自由ヶ丘) 参加人数:延131名 活動内容:洞海湾奥干潟の原生地及び九州共立大学におけるシバナの繁殖、清掃活動及び繁茂植物の伐採などの環境保全活動、堀川いっせい清掃との連携、洞海湾!絶滅危惧植物再生プロジェクト(2021秋、2022春)…新型コロナ対応のため関係者で実施、北九州市内の絶滅危惧塩生植物自生地の調査</li> <li>③ 活動成果 <b>★ 2021 北九州 SDGs 未来都市アワード(ESD 賞)の受賞</b> 九州共立大学「ビオトープ自由ヶ丘」で絶滅危惧塩生植物を繁殖・成長させ、育てたシバナを洞海湾の原生地に根付かせることにより、原生地の中での自生領域を保全することができた。</li> </ul>
<p><b>【今後の活動予定・団体のPR】</b> 干潟が広がった昔の洞海湾に想いを馳せながら活動しています。相手が貴重な絶滅危惧植物だけに、日々の地道な世話が欠かせません。これからも細々とですが、粘り強く続けていきたいと思っています。</p>
<p><b>【連絡先・ホームページアドレス・SNS】</b> 北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8 九州共立大学・TEAM洞海湾 成富 勝 TEL&amp;FAX:093-693-3257 E-mail:naritomi@kyukyo-u.ac.jp</p>

